

府中山の会だより

・ 2023 (令和5) 年 11 月

(敬称略)

編集 広報 山浦



◇第18回月例山行 2023年12月3日(日) 高取山～弘法山に変更しました。

高取山～弘法山の山行案内は10月に発送済みです。

当初、「養老溪谷」を予定していましたが、本年9月の台風13号の影響で養老溪谷の4つの遊歩道がすべて通行止めになり、復旧の目途が立っていません。この為、行先を「高取山～弘法山」(丹沢)に変更いたしました。ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

◇第15回月例山行 2023年10月15日(日) 陣馬山(市民体験登山)

雨天のため中止しました。

当初、「三ツ峠山」を予定しました。市報にも募集を掲載し、山行案内も発送しましたが、10月の役員会で、三ツ峠山は、歩行時間、下山時間など市民参加登山としては、難しいと判断しました。このため急きょ、陣馬山に変更しました。雨天で中止となりましたが、皆様にご迷惑をおかけして、申し訳ありませんでした。

◇山行記 第14回月例山行 燧ヶ岳(ヒツガタケ 2356m)・至仏山(シブツサン 2228m)

実施日 2023年10月1日(日)～3日(火) 健脚向け

男性1名 女性9名 計10名

担当 岸波勇雄

邑上 加代子 記 10月1日(日)1日目 「とき309号」に全員乗車。途中10分余り遅れますとのアナウンスにドキッ!! 上毛高原駅下車後、バス停までダッシュし無事に予定のバスに間に合う。ふう～(汗)ただ、このバスが路線バスの為、停車が多く道中が長い。おまけに本日1日より料金改定で300円 UP(オイオイ)ようやく大清水に着き乗合タクシーにて一ノ瀬休憩所へ。ここで昼食を取り身支度を整え出発。尾瀬沼の景観を楽しみながら予定通りに「尾瀬沼ヒュッテ」到着。山小屋のお風呂に歓声をあげゆっくりと夕食を済ませたところ、宿のオーナーのお声掛けで近くの『尾瀬沼ビジターセンター』にて尾瀬の自然のスライドショーを楽しむ。改めて尾瀬の素晴らしさを実感しました。9時消灯。おやすみなさい ZZZ… 10月2日(月)2日目 7:00 曇天のなか出発。長英新道をただひたすら歩く。悪路で視界も悪い中、時々木々の間から尾瀬沼が見えるのが嬉しい。ミノブチ岳を経て俎嵒登頂するも残念ながら景観は望めない。ひと呼吸整えた後少し下った所で昼食を取り次なる主峰・柴安嶺へと向かう。やはり展望は今ひとつ、至仏山も雲に隠れその姿を拝めない(😞)それでも東北地方最高峰に立つ感動は格別なものではないでしょうか。下山は岩とぬかるみの続く悪路(見晴新道)に苦戦。ぬかるみに足を取られたり石や木の根っこで滑りかけるなど、あちこちで悲鳴が上がる。6合目を過ぎた辺りでとうとう負傷者が出て、全体行動が難しいと2班に分けることに。先発4名は「龍宮小屋」へ連絡を入れつつ、後発グループを案じながら木道を急ぎ4:40 小屋着。日没時間が迫り、いよいよ最悪の場合は救助隊の手配も?!!と思案の中5:30 頃後発グループが到着。6:05 には全員が無事に食堂に集うことが出来ました。痛みに耐えながら荷物を分け合いながら、あの泥んこの悪路を歩いてきたのかと思うと・・・本当に頭が下がります。お疲れ様でした。

至仏山山行記は次ページ

山川 ふみ 記 朝5時半出発。曇り空、黄色の湿原、朝日と沈む月、私達だけしかいない木道歩きは素晴らしい体験でした。山の鼻で朝食後、山道にはいる。小さい丸石が敷き詰められています、石の大きさが次第に大きくなり、険しい岩場。2か所、鎖を使って登る。両手も使い、4点で登る岩場。最後は長く曲がった木道を登り山頂に10時半着。そこから小至仏山まで険しい岩場。昼食は、目前に広がる山々を眺め、暖かいカフェオレでほっと一息つく。悪沢岳まで岩場と格闘し、鳩待峠までは傾斜のきつい下山。さっと下山する仲間に何とかついてゆく。鳩待峠には13時半着。乗り合いタクシーが予定より早く出発し、さらに幸いなことに上毛高原まで送ってもらい、別行動の皆さんと合流。岩場に不慣れな私に指導いただいた平田副会長、綿密な企画、立案された岸波会長と参加して下さった皆さんに心から御礼申し上げます。今年一番の思い出に残る山行となりました。



尾瀬沼ヒュッテにて



柴安山頂 (しばやすぐら)



狙山頂 (まないたぐら)



尾瀬ヶ原バックに



至仏山頂